

施設名	宮川堤(みやがわつつみ)								
所在地	三重県 伊勢市中島								
管理者等	国土交通省								
施設種類・分野	河川	公園							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>伊勢神宮参詣の道のりに最後の要害として横たわる宮川を治めることは、古来より人々の課題であった。特に伊勢川の右岸はその堤防の築造に力が注がれてきた。江戸時代には山田奉行が代々この宮川堤を守る役割を引き継いだが、頻発する水害によりその都度工夫を加えて強化することになった。</p> <p>明治初期には、この周辺に多量の桜が植樹されて名所となり、1937年には県の名勝に指定された。</p>								
			土木学会HPより引用						
築造時期	明治初期	時期詳細	17世紀～18世紀						
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	選奨土木遺産(土木学会):近世に伊勢の地を守るため築かれた宮川下流右岸の堤防で、本堤と芻出しと堤外植樹等で構成された現代にも治水上機能する土木遺産である。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	土木学会選奨土木遺産中部支部 http://www.jsce.or.jp/branch/chubu/isan/isan.html								
管理者等のHP (URL等)	土木学会選奨土木遺産 http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/923								